



第20-64号

2020年12月1日

『Pokémon GO』とのパートナーシップをスタート
小田急グループのバス停 約2,400カ所がポケストップとして登場！
～ 地域のちょっとしたお出かけをより楽しく ～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区、社長：星野 晃司）は、Niantic, Inc.（本社：米国カリフォルニア州、CEO：ジョン・ハンケ）および株式会社ポケモン（本社：東京都港区、代表取締役社長：石原 恒和）とゲームアプリ『Pokémon GO』におけるパートナーシップ契約を締結し、2020年12月1日（火）から、お出かけを楽しくするためのゲーム内での取り組みを開始します。



『Pokémon GO』では、現実世界の名所旧跡や有名なモニュメントなどがゲーム内において、ポケモンを捕まえるために役立つ道具などが入手できる「ポケストップ」や他のプレイヤーのポケモンとバトルを楽しめる「ジム」となって登場しています。今般のパートナーシップ契約の締結により、2020年12月1日（火）から東京都・神奈川県・静岡県内の小田急グループ6社のバス停約2,400カ所が順次「ポケストップ」となります。

また、当社では、現実世界を移動してプレーする『Pokémon GO』をより楽しく遊んでいただくための施策を検討しています。MaaS アプリ「EMot」を活用し、バスの乗降・周遊にお役立ていただけるデジタルチケットの作成や、プレイヤー向けの特典施策など、スマートフォンを活用したウィズコロナ時代のお出かけを提案します。さらに、自治体をはじめ沿線内外のパートナーと連携して、ポケストップを設置する各地域でのちょっとしたお出かけをより楽しくサポートしていくことを目指してまいります。

ゲームアプリ『Pokémon GO』における取り組みの詳細は下記のとおりです。

記

- 1 開始日 2020年12月1日(火)
- 2 内容
ゲームアプリ『Pokémon GO』内において、小田急グループ各社^{※1}のバス停約2,400箇所^{※2}(東京都・神奈川県・静岡県)を「ポケストップ」として取り扱います
※1 株式会社江ノ電バス、小田急バス株式会社、神奈川中央交通株式会社、立川バス株式会社、株式会社東海バス、箱根登山バス株式会社
※2 ポケストップとなるのは一部のバス停です
- 3 その他
キャンペーンなどの今後の取り組み施策については、ゲーム内や小田急電鉄公式『Pokémon GO』サイト(URL:<https://www.odakyu-pokemon-go.com/>)等にてお知らせします

【参考】MaaSアプリ「EMot」について

- 1 名称 EMot(エモット)
- 2 基本機能
(1) 複合経路検索
(2) 電子チケットの発行
(3) オンデマンド交通の手配・決済

- 3 公式ホームページ <https://www.emot.jp>

- 4 ダウンロード

iOS

<https://apps.apple.com/jp/app/emot/id1472652885>

Android

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.odakyu.emot&hl=ja>



以上